

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月28日

上場取引所 東大

上場会社名 日本精線株式会社

コード番号 5659 URL <http://www.n-seisen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 近藤 龍夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 若松 壮一

TEL 06-6222-5432

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	16,613	41.9	70	95.1	203	86.1	76	91.1
21年3月期第3四半期	28,583		1,440		1,460		856	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	2.35	
21年3月期第3四半期	26.42	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	27,867	17,870	63.4	545.14
21年3月期	27,922	17,886	63.8	550.19

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 17,662百万円 21年3月期 17,827百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		5.00		2.00	7.00
22年3月期		0.00			
22年3月期 (予想)				2.00	2.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,800	27.8	500	225.7	600	145.1	300	554.9	9.26

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 社 (社名 ) 除外 社 (社名 )  
(注)詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
会計基準等の改正に伴う変更 無  
以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                    |             |             |             |             |
|--------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第3四半期 | 32,461,468株 | 21年3月期      | 32,461,468株 |
| 期末自己株式数            | 22年3月期第3四半期 | 61,612株     | 21年3月期      | 58,848株     |
| 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 32,400,917株 | 21年3月期第3四半期 | 32,405,513株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、在庫調整の進展や世界的な景気後退の底打ちと輸出の増加に支えられ緩やかな回復基調となりましたが、消費や設備投資の低迷、円高などの影響により、本格的な景気回復には至りませんでした。

ステンレス鋼線業界におきましても、第2四半期以降自動車業界や家電業界の生産回復や顧客の在庫積み増しなど需要動向は改善されましたが、前年同期のなお8割弱にとどまり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社グループでは、受注減少に対応して人件費をはじめあらゆるコスト削減の「緊急収益改善策」に取り組むとともに、ばね用材や極細線などの高付加価値製品を中心に一層の拡販の強化と新製品の開発に注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は166億13百万円と前年同期比△41.9%と大幅減収となりました。これは、主力のステンレス鋼線部門において、販売数量は7月以降回復し、その後も比較的堅調に推移したものの当第3四半期連結累計期間では、前年同期比8割程度にとどまったことに加え、原材料価格の低下に伴い販売価格を引き下げたこと、また、金属繊維部門も超精密ガスフィルター（ナスクリーン）が8月以降回復傾向にあるものの、主力のフィルターが国内外の主要顧客の設備投資抑制の影響を受け、前年同期比で大幅に減少となったことが主な要因です。

損益につきましては、第1四半期では大幅な赤字を余儀なくされましたが、コスト削減効果に加えて、7月以降の販売数量回復による売上高の増加と工場操業度の改善、さらにはニッケル価格下落に伴うマイナス要因の減衰などにより、当第3四半期連結累計期間の損益は黒字に転換し、営業利益70百万円（前年同期比95.1%減）、経常利益2億3百万円（前年同期比86.1%減）、四半期純利益76百万円（前年同期比91.1%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、278億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円減少いたしました。流動資産は154億39百万円となり、4億13百万円増加いたしました。主な要因は、棚卸資産の減少（8億31百万円）などはありませんが、現金及び預金の増加（9億99百万円）、受取手形及び売掛金の増加（10億11百万円）などによるものです。固定資産は、無形固定資産の取得による増加（1億63百万円）はありませんが、新規連結に伴う関係会社出資金の減少（6億30百万円）などにより124億27百万円となり、4億67百万円減少いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、99億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円減少いたしました。流動負債は54億7百万円となり、2億6百万円増加いたしました。主な要因は、短期借入金の減少（1億34百万円）や賞与引当金の減少（1億80百万円）はありませんが、支払手形及び買掛金が増加（5億53百万円）したためです。固定負債は45億89百万円となり、2億44百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金の減少（2億48百万円）などによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は178億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円減少いたしました。この要因は、海外子会社である耐素龍精密濾機(常熟)有限公司を連結対象としたことによる少数株主持分の増加(1億49百万円)はありましたが、利益剰余金が減少(1億60百万円)したためです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は47億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億99百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動におけるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて6億86百万円増加し21億3百万円の収入となりました。これは、売上債権の増加(31億49百万円)や税金等調整前四半期純利益の減少(12億66百万円)などの減少要因はありましたが、仕入債務の増加(25億58百万円)、棚卸資産の減少(5億9百万円)や法人税等の還付(18億43百万円)などの増加要因があったためです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて3億89百万円支出が減少しました。主な要因は、有形固定資産取得による支出が減少(4億11百万円)したことなどです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済(2億12百万円)はありましたが、配当金の支払額減少(2億56百万円)により、前年同期に比べて43百万円支出が減少しました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第4四半期の国内外経済の動向には不透明感が残るものの、当社グループの第4四半期の業績が比較的堅調に推移することが見込まれることから、平成21年10月28日に発表いたしました平成22年3月期通期の連結並びに個別業績予想を上方修正しております。詳細につきましては、本日(平成22年1月28日)別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
第1四半期連結会計期間より、特定子会社である耐素龍精密濾機（常熟）有限公司の重要性が増したため、連結の範囲に含めています。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
  - ① たな卸資産の評価方法  
実地棚卸を省略し第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出しています。
  - ② 固定資産の減価償却費の算定方法  
減価償却の方法として定率法を採用しているため、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しています。
  - ③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法  
原則法で行っていますが、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しています。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,682	3,683
受取手形及び売掛金	5,914	4,902
商品及び製品	1,413	1,882
仕掛品	1,991	1,713
原材料及び貯蔵品	1,183	1,823
その他	255	1,021
流動資産合計	15,439	15,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,168	3,227
機械装置及び運搬具(純額)	4,174	4,143
土地	1,808	1,820
リース資産(純額)	8	9
建設仮勘定	78	127
その他(純額)	183	187
有形固定資産合計	9,421	9,516
無形固定資産	430	266
投資その他の資産	2,576	3,113
固定資産合計	12,427	12,895
資産合計	27,867	27,922
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,914	3,361
短期借入金	760	894
未払法人税等	28	23
賞与引当金	210	390
その他	493	531
流動負債合計	5,407	5,201
固定負債		
長期借入金	1,391	1,639
退職給付引当金	3,025	2,969
役員退職慰労引当金	107	159
その他	65	66
固定負債合計	4,589	4,834
負債合計	9,997	10,035

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	5,446	5,446
利益剰余金	7,356	7,517
自己株式	△24	△23
株主資本合計	17,778	17,939
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	194	108
繰延ヘッジ損益	△0	—
土地再評価差額金	127	124
為替換算調整勘定	△437	△345
評価・換算差額等合計	△116	△111
少数株主持分	208	59
純資産合計	17,870	17,886
負債純資産合計	27,867	27,922

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	28,583	16,613
売上原価	25,001	14,698
売上総利益	3,582	1,915
販売費及び一般管理費	2,141	1,845
営業利益	1,440	70
営業外収益		
受取利息	10	2
受取配当金	31	12
技術指導料	24	6
助成金収入	—	119
その他	32	33
営業外収益合計	99	174
営業外費用		
支払利息	27	23
売上割引	22	10
その他	29	6
営業外費用合計	79	41
経常利益	1,460	203
特別利益		
固定資産売却益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
固定資産除却損	19	31
ゴルフ会員権評価損	—	0
特別損失合計	19	32
税金等調整前四半期純利益	1,441	174
法人税、住民税及び事業税	457	21
法人税等調整額	127	96
法人税等合計	585	117
少数株主損失(△)	—	△19
四半期純利益	856	76



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,441	174
減価償却費	803	869
ゴルフ会員権評価損	—	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	81	56
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	27	△52
賞与引当金の増減額(△は減少)	△290	△180
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△39	—
受取利息及び受取配当金	△41	△15
支払利息	27	23
為替差損益(△は益)	△0	0
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△2
有形固定資産除却損	19	31
売上債権の増減額(△は増加)	2,133	△1,015
前受金の増減額(△は減少)	△3	△0
たな卸資産の増減額(△は増加)	332	842
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△46	72
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,938	619
未払消費税等の増減額(△は減少)	45	42
その他の流動負債の増減額(△は減少)	60	52
その他	39	—
小計	2,652	1,519
利息及び配当金の受取額	41	15
利息の支払額	△28	△26
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,249	594
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,416	2,103
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却による収入	—	30
有形固定資産の取得による支出	△943	△531
有形固定資産の売却による収入	—	10
無形固定資産の取得による支出	△87	△177
関係会社株式の取得による支出	△49	—
その他	△0	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,081	△692
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△54	△153
長期借入金の返済による支出	△100	△213
リース債務の返済による支出	—	△1
自己株式の純増減額(△は増加)	△1	△0
配当金の支払額	△321	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△477	△434
現金及び現金同等物に係る換算差額	△163	△18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△304	958
現金及び現金同等物の期首残高	4,664	3,724
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	40
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,360	4,723

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。